

令和7年度神奈川県高等学校英語スピーチコンテスト (第62回全神奈川高等学校英語弁論大会) 実施要項

- 1 目的 高校生の英語による実践的コミュニケーション能力の向上を図るとともに、国際性豊かな人材の育成を図る。
- 2 主催 神奈川県、神奈川県教育委員会
神奈川県高等学校教科研究会英語部会
- 3 主管 運営は神奈川県高等学校英語スピーチコンテスト実行委員会が行う。実行委員会については別途定める。
- 4 後援 横浜市教育委員会、川崎市教育委員会、横須賀市教育委員会、
(予定) 一般財団法人神奈川県私立中学高等学校協会
- 5 本選日時 令和7年10月19日(日) 12時30分から17時00分まで
- 6 本選会場 みなとみらいリサーチセンター 6F 共創スペース INNOVATION SQUARE
<https://www.kyocera.co.jp/rd-openinnovation/about/minatomirai.html>
〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-7-1
オーシャンゲートみなとみらいビル
(みなとみらい線みなとみらい駅下車 徒歩5分)
- 7 参加資格 英語を外国語として学習している神奈川県内高等学校及び中等教育学校後期課程に在籍する生徒を対象とする。ただし、海外での生活経験によって参加できる部門が異なる。
 - 一般部門：次の(1)～(3)のいずれにも該当しない生徒
 - ※ひとつでも該当する者は、一般部門での参加はできない。
 - (1) 満5歳の誕生日以後に、通算1年以上又は継続して6ヶ月以上、英語圏(英語を第一言語、公用語、又は公用語に準ずる言語として使用する国、地域)に居住した者。
 - ※ 英語圏の詳細については、全国英語教育研究団体連合会(全英連)ホームページで確認すること。
 - (2) 日本国内、海外を問わず、6ヶ月以上、英語以外の教科に関し、実態として英語による教育を行っている学校(アメリカン・スクール、インターナショナル・スクール、又は授業科目の半分以上を英語で行っている学校を含む)に在籍し、その教育を受けたことのある者。
 - (3) 満5歳の誕生日以後に、保護者又は同居親族に、英語を母語とする者、又は英語圏出身の者がいる者。
 - 総合部門：海外での滞在経験の有無及び期間を問わない。



8 実施方法

(1) 予選

(ア) 題目、内容は自由ですが、オリジナル原稿で未発表のものに限る。

※生成AIによる生成物を自己の成果物として提出・発表するのではなく、自分自身による思考形成を経た、自らの意思や情熱を表現した原稿とすること

(イ) スピーチ時間が4分30秒に満たない場合、または5分30秒を超えた場合は減点となる。

(ウ) スピーチ原稿と本人のスピーチを録音したものを、主催者の責任により審査し、その結果を10月初旬に各学校あて通知する。

(2) 本選

(ア) 本選に推薦された者は、4分30秒以上5分30秒以内で予選と同じ要旨で弁論を行う。

(イ) 弁論内容について、審査員から英語による簡単な質問を行う。

※本選出場者の氏名、学校名及びスピーチ内容のアウトラインは、新聞などの各種メディアにて公表されることがある。

9 表彰 各部門1位から3位までを入賞とする。

その他に、奨励賞を設けると共に、予選参加者全員に参加賞を贈る。

10 申込方法 部門を問わず1校から2名まで申し込むことが可能。

申し込む際は、次の(1)～(6)をとりまとめて提出する。

また、あわせて(7)のとおり、フォームにて、応募に係る内容を回答する。

(1) 所定の参加申込書(様式1) (公印が必要)

(2) 本人の英語スピーチ原稿の電子データ

(電子データは「マイクロソフトワード」によりA4判(タテ)の用紙に横書きで作成し、CD-Rに保存して提出すること。フォントはCenturyの11ポイント。余白は上下左右2cm。1行文字数38字、行数38行。)

※ CD-Rの表面に、「部門・学校名・氏名」を書き、**原稿**と明記すること。

(3) 英語スピーチ原稿((2)の電子データ)を印刷したもの(印刷は、必ず片面印刷にすること)

(4) スピーチ原稿のアウトラインを150字～250字の日本語で記した電子データ

(電子データは「マイクロソフトワード」によりA4判(タテ)1枚以内に横書きで作成し(2)と同じCD-Rに保存して提出する。フォントは、MS明朝の11ポイント。余白は上下左右2cm。1行文字数38字、行数38行。)

(5) 本人の、英語のスピーチをCD-Rに録音したもの

(生徒1名につき1枚を提出してください。なお、別紙「録音について」をよく読んでください。)

※ スピーチ時間が4分30秒に満たない場合、または5分30秒を超えた場合は減点となる。

※ 必ずCDプレーヤーで再生できることを確認の上、送付する。

- ※ CD-Rの表面に、「部門・学校名・氏名」を書き、**音声**と明記する。
- ※ 提出されたスピーチ原稿及び録音媒体は返却しない。
- ※ 申込みのあった学校には、受付確認の文書を事務局から送付する。
- ※ スピーチ内容のアウトラインは、本選当日、配付資料に掲載する等、主催者側が使用することがある。

(6) 返信用封筒（長形3号）3部

- ※ 「受付確認」「選考結果」及び「参加賞」文書送付用として3部。
- ※ 返信用封筒3部とも宛て先を校長又は学校にする。
- ※ 切手は不要。

(7) Microsoft Forms URLによる回答

応募校におかれましては、上記の(1)～(6)を、指定した方法にて提出する際、「(1) 所定の参加申込書（様式1）（公印が必要）」の記載内容のとおり、つぎのURLにて、応募校情報（学校名、各部門の応募生徒数）を回答ください。

<https://forms.office.com/r/myWpudzAKH>



11 申込期間 **令和7年8月20日（水）～9月3日（水）〔必着〕**

12 提出方法 配達記録の残る郵送

13 提出先 〒253-0084 神奈川県茅ヶ崎市円蔵1-16-1 神奈川県立鶴嶺高等学校
神奈川県高等学校英語スピーチコンテスト実行委員会事務局
Tel：（代表）(0467)52-6601

14 問合せ先 神奈川県教育委員会教育局指導部
高校教育課 国際・情報教育グループ 指導主事 鈴木
Tel：(045)210-8371

15 備考 このコンテストは、全国英語教育研究団体連合会（全英連）主催英語弁論大会の神奈川県予選を兼ね、上位入賞者の内2名を全英連主催英語弁論大会（関東甲信越ブロック）に推薦します。記録のため、本選はすべてビデオ撮影を行いますので、御了承ください。
また、各部門の優勝者は「神奈川県友好交流地域高校生派遣事業（メリーランド州派遣）」の選考において、2次審査のうち英語による面接を免除します。ただし、派遣事業が中止になる場合もあります。